

フブ・服部の中国通信**残暑お見舞い申し上げます。**

「残暑」になってからのほうが「暑中」の時よりも暑いのではないだろうか、「立秋」？ 暑さが全然衰えませんが・・・と、毎年のように詮無いことを考えてしまう服部でございます。

今回は、先月末より福建省に出張しており多少ネタがありますので、先月に倅い忘れないうちに書き進めたいと思いますのでしばしのお付き合いを。

風光明媚

廈門から片道約4時間をかけ、福清地区に行ってきました。青い空、あたり一面に広がる、海、山。



浅瀬には干潟ができ、ムツゴロウやシオマネキが取れるかどうかは知りませんが、なにやら漁をしています。中国の方に聞くと貝を獲っているとか。

のどかな良いところですね・・・ 仕事でなければもっと良かった（笑）

さて、福清まで何をしに行ってきたのかと申しますと、弊社の偉い人のお使いで敵情視察・・・もとい、少々営業所内で課題になっている石種の研究のため丁場を訪問してきました。



と、言ってもお目当ての丁場は数週間前に雨が降り続いた影響で、石切り場なのか湖なのかわからない状態になっていましたが・・・。

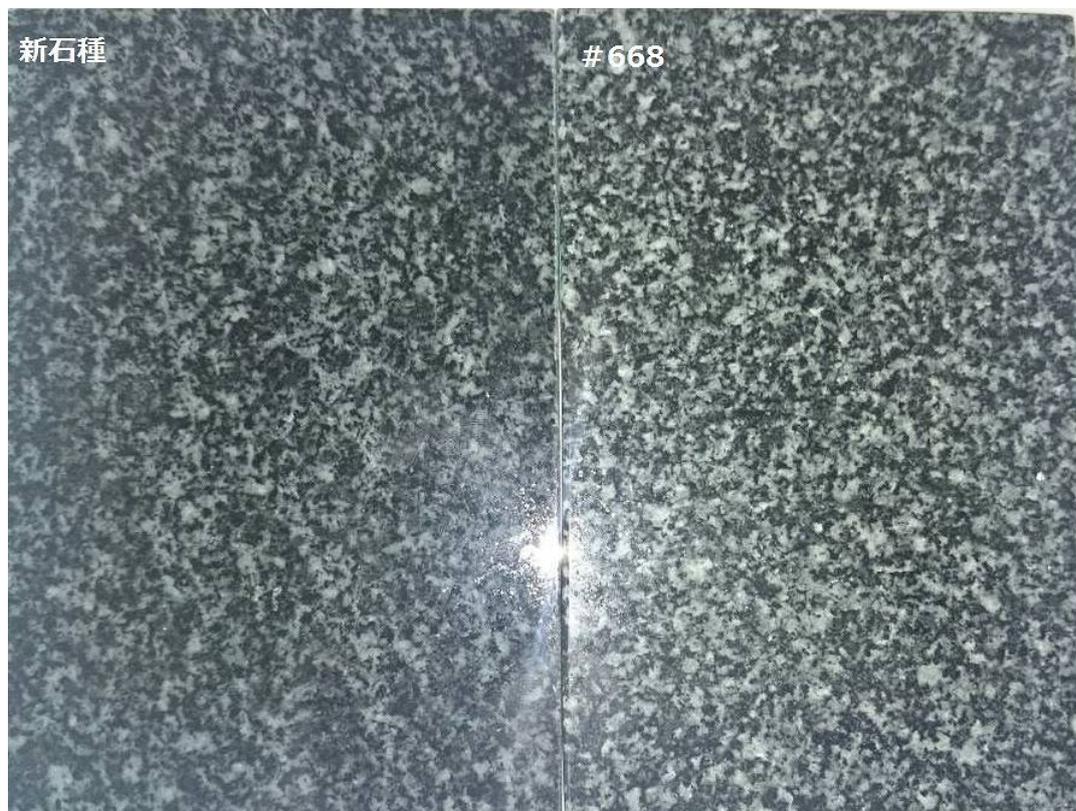
水深は約 50m！とても深くまで掘り進んでいる歴史ある丁場ですが、それゆえに水量もとても多く、水を抜くのに一ヶ月からかかるとか・・・冗談交じりに

「もう中で高級海鮮の養殖でもしたらどうですか？」と言うと

「いや、本当に水を抜いて水深が浅くなってくると、エビやカニやシャコやらがたくさん取れるんだよ、石より儲かるかもね（笑）」と返されました。本当に考えた事もあるそうです。

そういえば丁場のあたりにもカニが歩いていました。石から栄養でも溶け出しているのでしょうか？？

残念ながらお目当ての丁場には振られてしまいましたが、近辺にある丁場で中間色系の面白そうな石が出てきています。採掘自体は 10 年近いのですが、本格的に量が出だしたのがここ 3 年ほどです。石目的には G668 のベースカラーを濃くしたような感じで、原石の表面からは目立ったムラスジ等の難も見られません。なかなか高級感のある石ではないかと思えます。



サンプル、価格等は弊社営業員までお問い合わせください。

石材業者の悲哀

最近中国の石材業者さんの間で出回っている記事で、つい日本で言うところの「いいね！」を押してしまった記事があったので紹介させていただきます。

原文：

http://mp.weixin.qq.com/s?__biz=MzA3MzA0NzUzNQ==&mid=200295450&idx=1&sn=68540e9f2111a1da5a01ab24424e5a2f&scene=2&from=timeline&isappinstalled=0#rd

訳文：

もし、ご主人が石材業に携わっておられるなら、ぜひ見て行ってください！

もし、ご主人が石材業に携わっておられるなら、これ以上苦しめないであげてください。一日でどれた

けの話をしないといけないか、何本の電話を取らなければいけないか、どれだけ多くのことを頭に入れておかなければいけないのか・・・ 本当に大変です。

もしかしたらせっかく作った食事に目もくれないかもしれません。一日でタバコを何箱も吸ってしまうかも知れません。しかし、それは商売の話をしていたり、仕事の事を考えているのです。時には家路についてもその考え事が頭から離れません。

もし、ご主人が石材業に携わっておられるなら。お酒を飲めもしないのに強いふりをしないで！などと怒ってあげないでください。

お客様と飲みに行き、フラフラになってもなんともしないふりをせねばならず、時にはお客様を家まで送り届けないといけない事もあるのです。

もし、ご主人が石材業に携わっておられるなら、あまりブツブツ文句を言ってあげないでください。休暇に旅行は社長様には贅沢すぎます。入院し点滴をするぐらいまで無理をして初めて休息を取れるような方なのです。もし休みがあるなら、ゆっくり寝かせてあげてください。

もし、ご主人が石材業に携わっておられるなら、あまり責めないであげてください。午前二時にまだ帰宅されないと言うような事があっても、それは突発的なアクシデントに対応されているからです。疑心暗鬼になる必要はありません。浮気をするような体力、気力はありませんから。

もし、ご主人が石材業に携わっておられるなら、ぜひご主人の疲れきった目、目の周りのクマを見てあげてください。

ご主人の頑強そうに見えて、実はとても辛いのを我慢している両手を握り締めてあげてください。

もし、ご主人が石材業に携わっておられるなら、家で寝ていたからと言って不満に思わないであげてください。ご主人にとって、我が家が唯一の安息の場なのです。

石材業に携わる皆様、本当にご苦労様です！

私が、とは申しませんが、弊社の営業員もこれに負けないぐらいの働き者揃いです。ぜひぜひご鼻眞に、よろしく願いいたします。

私が妻にこのような事を言ったらものすごく怒られるだろうなあ、と思いつつも「賛！（日本で言うところのいいね!）」を押してしまったお話でした。

それではお後がよろしいようで、また来月お会いしましょう。再見！

2014年9月 服部